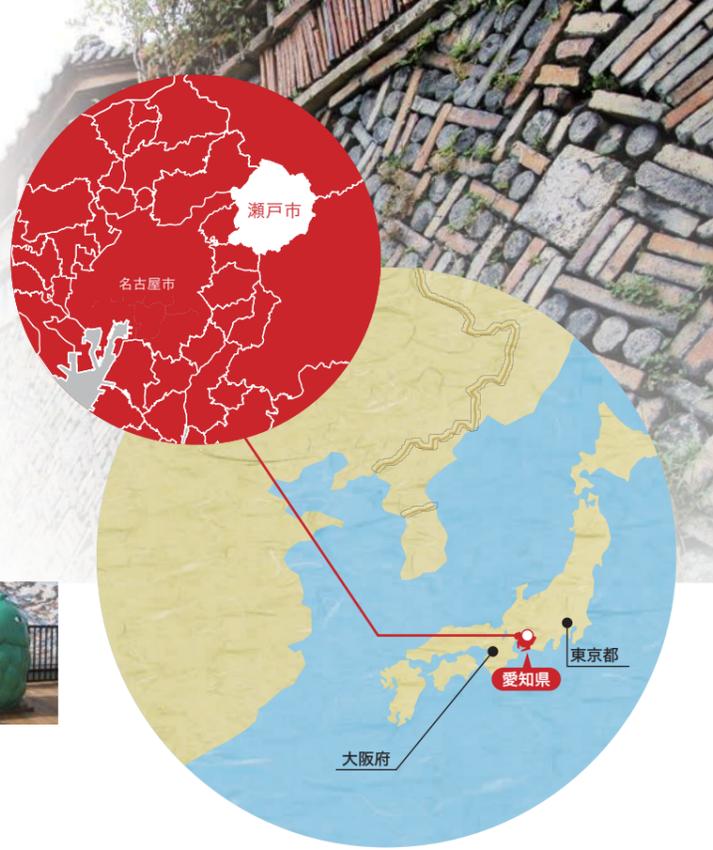


1000年以上の歴史を誇る 日本遺産のまち 瀬戸市



瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちです。「せともの(瀬戸物)」という言葉が、やきもの代名詞として広く知られています。良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ(置物・装飾品)、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。2017年4月、中世から現在まで生産が続く、日本古来の陶産地のうち瀬戸を含む常滑、信楽、丹波、備前、越前のやきものは「日本六古窯」として日本遺産に認定されました。



瀬戸の食 **せとめし**

瀬戸市といえば、「うなぎ」。その昔、窯焼き職人の栄養補給のため、うなぎが重宝されていたといわれており、現在でも瀬戸市はうなぎ屋さんが多く点在しています。甘く濃いタレが特徴。自分の舌に合う、うなぎ屋さんをぜひ探してください。また、ご当地グルメとして近年人気の「瀬戸焼そば」。茶色の蒸し麺に、豚肉の煮汁をダシにした醤油風味は瀬戸特有の味です。市内の店舗では、「瀬戸焼」の器に盛られており、目で見て、舌で味わって「瀬戸」をまるごと堪能できます。他にも、ご飯とおかずと一緒に炊いた「ゴモ(五目ご飯)」は、栄養価も高く素早く食べられる食事として職人に愛されてきました。瀬戸にお越しの際は、ぜひこれらの「せとめし」を味わってください。



うなぎ料理



瀬戸焼そば

イベント

歳時記	
4月	●せと陶祖まつり
9月	●せともの祭 ●来る福招き猫まつりin瀬戸
11月	●ゆるり秋の窯めぐり ●岩屋堂・定光寺もみじまつり
2月～3月	●陶のまち 瀬戸のお雛めぐり
3月	●愛地球博開催継承事業 瀬戸蔵口ロボットアカデミー



せともの祭(9月)



ゆるり秋の窯めぐり(11月)

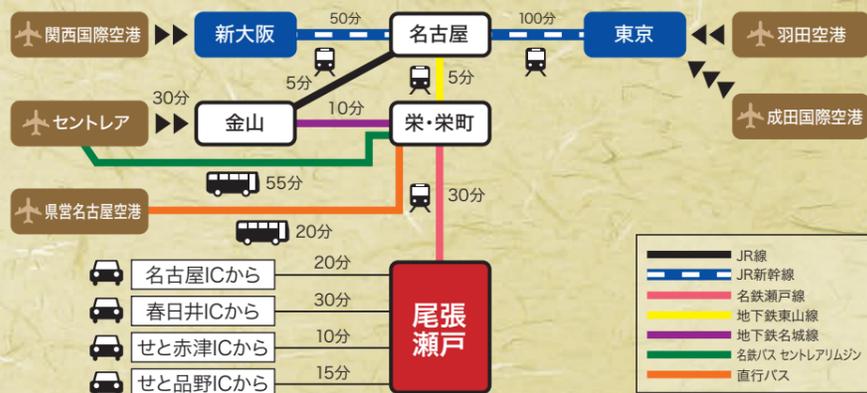
まるっとミュージアム SETO JAPAN

まちがまるごと美術館
Discovery 瀬戸



ようこそ、
日本遺産のまち
瀬戸へ

アクセス



お問い合わせ

瀬戸市地域振興部まるっとミュージアム課
瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会
〒489-0813 愛知県瀬戸市蔵所町1番地の1
TEL 0561-85-2730 <http://www.seto-marutto.info/>



せとまるっとミュージアム

せともの

加藤唐三郎作「黄瀬戸線紋 大皿」